

第19回宇宙輸送システム部会 議事要旨

1. 日時：平成26年10月27日（月） 15：00－16：10
2. 場所：内閣府宇宙戦略室 大会議室
3. 出席者
 - (1) 委員
山川部会長、白坂部会長代理、緒川委員、仁藤委員、松尾委員、御正委員、薬師寺委員、渡邊委員
 - (2) 事務局
中村宇宙戦略室審議官、森宇宙戦略室参事官

4. 議事要旨

(1) 新宇宙基本計画に盛り込むべき事項について

事務局から資料1に基づき宇宙政策委員会第28回会合の議事概要について説明があった。その後、新宇宙基本計画に盛り込むべき事項について議論が行われた。

審議の結果、液体・固体双方の基幹ロケットに関する事項、射場や打ち上げシステムに関する事項、再使用型宇宙輸送機やLNG推進系関連技術の研究開発に関する事項について新宇宙基本計画で取り上げることとする部会の方向性が確認された。

審議における主な意見は以下のとおり。

- 将来の固体ロケットの在り方を検討する場合は、宇宙探査のニーズにも対応するものとするべき。
- 再使用型宇宙輸送システムの研究開発は、宇宙輸送システムの長期ビジョンに盛り込まれたように、システム試験も含めて研究開発を推進することを含むと理解している。
- 各国と比較し優位であること、かつ将来の再使用型輸送システムや軌道間輸送機へのニーズを考え、LNG推進系関連技術も含めることは重要。
- 宇宙輸送に関する法制度の整備も盛り込むべき。

本日の議論も踏まえ、新宇宙基本計画に盛り込むべき事項に係る宇宙輸送システム部会の検討結果に関する宇宙政策委員会への報告については部会長に一任し、今後の宇宙政策委員会における取りまとめに反映させるように調整していくこととなった。

以上